

校内研修計画

神金小学校

1 学校課題

本校の児童は、全体的に明るく、元気で、素直である。子どもたち同士の仲は大変よく、休み時間や児童会行事では学年の枠を超えて遊び、諸活動においても上級生が下級生の面倒をよくみている。全校児童の一体感が見られる。少人数学級の特色を生かし、学習指導では児童一人ひとりに教師の目がよく行き届くことにより、児童の基礎学力向上が図られてきた。一方、児童が相互に切磋琢磨する場面が減少し、幼児期からの友人関係の固定化もあり、ダイナミックな活動が少なくなったことが課題としてあげられる。自ら主体的に学び、自己判断し決定していく力の育成が急務である。

そこで、小規模校の特性を生かしながら、児童一人ひとりに確かな学力を身につけさせるとともに、全校縦割り集団等を組織し、主体的で生き生きとした活動を数多く仕組みながら、児童自らが気づき・考え・判断する力、自己決定力が育成できるよう、全校体制で取り組んできている。今年度も継続し、小規模校デメリット解消の中心課題として取り組んでいきたい。

また、甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとかかわりをもたせた「学級づくり」や「授業づくり」「地域保護者との連携」の実践も6年を経過し、着実に成果をあげてきている。今年度もプロジェクトとの連携を深めながら、確かな学力の定着と向上を一層推進していきたい。

さらに、昨年度、文部科学省委託事業「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進」の小規模校を存続させるためのモデル地区として、先進的なICT環境を活用した21世紀型地域創生事業の調査研究の3年次として、協働学習場面におけるICT機器の活用やICT機器を媒介としたコミュニケーション能力の醸成、地域資源を活用した主体的に学びにかかわる「新たなふるさと学習」の実践に取り組み大きな成果を得た。今年度は、3年間で得た実績を活かした実践を継続し深化させていきたい。

2 研究主題

「少人数学級における思考力・判断力・表現力等の育成」

～主体的・対話的で深い学びを視点とした授業の工夫と改善を通して～

3 主題設定の理由

過去3年間にわたり、文部科学省委託事業のモデル地区として、先進的なICT環境を活用した21世紀型地域創生事業の調査研究に取り組んだ。それらの取り組みにより、児童は自分の考えを持ったり、自分の考えを発表したりすることができるようになった。また、小規模校のデメリットとしてあげられた、同学年の児童数が少ないことにより多様な思考に触れられる授業が難しいという点では、同期型CSCLを使った複数校との協働学習を仕組むことで、多くの児童の思考に触れることができ、それにより児童の思考を深め、広げることができた。

そこで先進的ICT環境を引き続き活用し、小規模校ならではの丁寧な指導と一人ひとりが学び・考え・行動できるよう、発表や活動の機会を保障することを通して、21世紀型能力の向上を図っていきたい。

また、地域資源を活用した主体的な学びを実践し、それを情報として地域に発信する「新たなふるさと学習」に引き続き取り組む過程で、児童の思考や表現する力を育成していくことをめざしたい。「21世紀型能力」を目指すことは、「主体的・対話的で深い学び」の実現にそうものと捉える。

※21世紀型能力：

仲間と協働して学習する力、自ら課題を設定し、解決策を考え結果を導きだし考察した上で、さらによりよき結果を求め改善する力、またそれらのことを発信したり、仲間の発表などから、自らの考えなどを改善する力と捉える。

4 研究の具体的内容と方法

(1) 研究内容

- ・ 児童の実態把握 (NRT 検査, Q-U, アンケート) と K-13 法分析とアタックシートを活用した集団づくり
- ・ 基礎的・基本的な学習内容の定着や学習意欲向上への取り組み
- ・ ICT 環境の効果的な学習方法を工夫した授業実践
- ・ 家庭学習や学習規律の確立の取組と「家庭教育/子育て Q & A」の活用した家庭の教育力向上への取組
- ・ ICT を活用した協働学習や「ふるさと学習」の実践, 資料のまとめ
- ・ 地域や地域の他団体と連携した学習活動と他への情報発信

(2) 方法

- ・ 「朝の基礎学習」の取組
- ・ 互いに提案し合い教え合うミニ学習会と指導主事を招聘しての学習会
- ・ アンケート調査による児童と学年集団の実態を把握
- ・ 一人一実践 (学校間ネットワークの交流実践も含む)
- ・ 授業実践後, 児童への事後アンケートや意識調査, 職員同士の授業観察による意見交換を行う。

年間校内研修計画

研究主任 廣瀬きよ美

研究テーマ	回数	教科領域等	担当者	学年	授業の時期	t・c要請
少人数学級に 主体的・対話的 で深い学びを 視点とした授 業の工夫と改 善を通して	1	昨年度の成果と課題, 研究の方向性	研究主任・若月			
	2	研究主題・研究の方向性, edutab学習会	研究主任			
	3	基本計画, 学習会「edulogの実際と活用について」	研究主任・神宮司			
	4	基本計画について	研究主任			
	5	見学学力状況調査採点と分析	研究主任			
	6	全国学力把握調査採点と分析	研究主任			
	7	学習会「主体的・対話的な深い学びの道徳の授業と評価について」	研究主任		5月	○
	8	Q-U分析	担当学年			
	9	学習規律・家庭学習の取り組みについて	研究主任			
	10	臨地研修	1・2・3年			
	11	教育課程環流報告, 臨地研修	各担当, 4・5・6年			
	12	学習会「TV会議システムの活用法」	研究主任・神宮司			
	13	一人一実践	担当学年			
	14	一人一実践	担当学年			
	15	一人一実践	担当学年			
	16	「新たなふるさと学習」の資料整理	各学年			
	17	Q-U分析と今後の取り組み	担当学年			
	18	神金シンポジウム	吉本	4年		
	19	新たなふるさと学習発表会	各学年	全学年		
	20	「新たなふるさと学習」の資料集づくりへの取り組み	各学年			
	21	集団づくり・授業づくり実践のまとめ	各学年			
	22	児童アンケート結果考察	研究主任			
	23	研究の成果とまとめ	研究主任			
	24	全体のまとめと来年度の方向性	研究主任			

